

各地区業況アンケート結果（30年7月調査分）

（30年7月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

7月25日締切で、当会役員146名に対しこのアンケートを行ったところ75名の回答があり（回答率51.4%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 4割強の企業が前年同月比数量増

問1】貴社の6月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	16	16	27	10	6	75	73
比率	21%	21%	36%	14%	8%	DI+35	DI+44
売上金額/前年同月比	25	15	25	8	2	75	73
比率	33%	20%	33%	11%	3%	DI+71	DI+77

2. 黒字7割弱

問2】貴社の6月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	27	23	19	4	2	75	73
比率	36%	31%	25%	5%	3%	DI+92	DI+81

3. 民間建設向やや増加傾向

問3】貴社の営業窓口から見て7月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向	1	8	38	7	1	55	+2	+7
民間建設向		27	35	3		65	+37	+30
自動車向		5	31	1		37	+11	+9
その他需要家向		19	43	4		66	+23	+28
仲間取引		9	43	9		61	±0	-2
計	1	68	190	24	1	284	+16	+16
比率	0%	24%	67%	9%	0%			

4. 秋需に期待

問4】貴社における向う8月から10月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	5	43	25	1		74	70
比率	7%	58%	34%	1%		DI+70	DI+80

5. コラムが引|続き不足ぎみ

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	品種別	A	B	C	D	E		7月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-24	-29	-20	-19	-11	10	8	-4	-17	0	0	-7	鉄筋用丸鋼	1	1	26	1		29	7
-3	-13	-13	-13	-6	3	-4	7	10	10	10	13	構造用丸鋼		5	25	1		31	13
-12	-9	-5	-9	-3	3	0	0	-10	-3	-3	-6	平角鋼		1	32	1		34	0
0	0	15	22	29	38	25	22	8	-6	-3	10	H形鋼		6	23	3		32	9
-26	-13	0	21	32	54	29	48	11	33	38	59	コラム	1	13	6	1		21	67
-16	-13	0	-8	-6	11	19	3	0	3	-6	0	小形山形鋼			32	3		35	-9
-19	-16	-5	-5	-5	6	-7	0	-13	-18	-12	-3	中形山形鋼			30	5		35	-14
-22	-5	3	-3	0	11	0	-3	-3	0	-9	-3	溝形鋼		1	30	3		34	-6
-20	-13	-10	-10	3	0	4	-3	-16	-15	-14	-11	軽量形鋼C形		1	27	2		30	-3
-20	-5	-18	-14	-15	5	-5	-9	-16	-16	-15	-10	軽量形鋼広巾			16	2		18	-11
7	3	23	0	29	22	44	41	32	4	14	13	冷延薄板	1	2	20	2		25	8
-12	-9	11	14	39	46	61	50	31	27	23	12	熱延薄板		4	22	1		27	11
-3	-6	35	31	47	53	73	59	50	40	33	27	表面処理鋼板		5	22	1		28	14
9	14	45	31	64	69	76	80	52	32	25	18	酸洗鋼板		4	23	1		28	11
-11	-5	10	10	46	53	76	55	24	21	19	16	中板		6	32	3		41	7
-19	-19	-5	3	29	21	18	21	8	-6	14	14	厚板		6	31	2		39	10
-7	-18	0	5	17	0	-7	6	-6	0	13	0	極厚板		1	15	1		17	0
-11	-9	-6	3	20	6	-4	3	-7	3	-10	-3	縞板		1	28			29	3
-28	-14	-15	-3	0	3	7	0	-12	-11	-5	-12	中径角		2	35	2		39	0
-23	-13	-16	5	0	8	-3	3	-9	-8	-8	-6	ガス管黒		6	32	2		40	10
-21	-18	-20	-3	3	3	-3	-3	-14	-6	-8	-12	構造用鋼管		3	33	2		38	3
-14	-10	1	3	15	21	22	18	5	4	4	5	計	3	68	540	39	0	650	5

6. 建築向け動き出し加工に繁忙感

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。（答え）

北海道	A	発注が遅れている。今月に期待したい。
	B	ファブは高稼働で忙しい状態が続いている。今後、メーカー値上げも更に上昇が予想され、採算確保するためには継続し価格引上げを行う。
	C	北海道だけ別市況である。スクラップの動向や他地区の市況の影響もあるが、北海道は需要が出始めたこともあり、丸棒市況は強含み横ばいである。
東北	A	ファブや一次加工先が非常に忙しい状況だが、注文量は大きく変化していない。材料の注文より加工先の紹介依頼が増えている。
	B	高炉も電炉もロールがタイトである。
	C	一次加工は忙しい。債権不安も増えてきた。地元物件は少ない。
	D	新規物件は少ない。某電炉メーカーでは関東物件が忙しく東北物件のデリバリーに大変苦労している。
	E	丸棒価格は需要家向がメーカー値上げに追いつかず厳しい状況である。引合いはなんとなくまだ少ない。
新潟	A	建築中心に若干の動きが見られるものの力強さはまだまだの感がある。依然として単価の転嫁に問題あり。
	B	自動車、建築、産業機械と前月比で伸びず、7月以降は暖房など季節商品の増産を予測。建築需要は好調で県内大手ファブを中心に1年先まで山積みを確認している。メーカー値上げの転嫁は遅れ気味も価格は強含みでジリ高傾向である。
	C	漸く需要が出てきた感じだが、高炉メーカーがタイト化してきたため鋼材の手当てに苦労している。
	D	鋼材の入荷遅延がますます酷くなっている。このままでは秋需に対応できない。
	E	ファブの山積みは多い。材料納期に注意が必要となっている。小口物件の値上げは出来てきたが、大口物件はまだ道半ばである。
	F	機あらば一気に値上げを実施したいが、少しずつ様子を見て時間をかけている。他者も同じ状況とは思いますが、一時安値が出て逆行する場面もあった。全国的には好調と思われるが、当社の荷動きはほぼ横ばいで実感は乏しい。
	G	H形鋼は歯抜けが出始めている。厚板（切板）も品種が多いため、物によっては歯抜けがあり、コラムもタイトになっている。
神奈川	A	足元、各ミルともにロールがタイトなため、納期が後ろ倒しになり注視している。需要は堅調である。
	B	一次加工付きの物件が多少なりとも出てきている感じである。加工納期も10～20日間位で受注量も増えてきている。後は、仲間取引が良くなれば問題ない。
東京	A	予想に反しタイト感が全くなし。メーカー値上げにスライドし需要家単価を上げたところ競合相手に出し抜かれ数量がガタ減り、今後、単価修復に労力を費やすことになる。また、連日の猛暑で現場能力が著しく低下、目下、様々なアイデアを出して対策を構築中である。
	B	まったく感が続き、価格転嫁も出来ず収益悪化で採算が厳しい状況である。ひも付きユーザーの更なる価格値上げを早急に変現して頂き、店売り環境の改善に尽力していきたい。
	C	先月より数量は増加しているが、実感として変わらず低調な状態で推移している。

東京	D	都心の大型再開発に向け、建築資材、配管材についてはオリンピック後のスタート計画が出始めた。建築向け需要は持続的に旺盛である。
	E	表面処理鋼板の荷動きが二極化している。仲間売り（特約店売り）は引き続き荷動きが悪いが建築ユーザー向けの荷動きは月を追う毎に改善して前年を上回る様になってきた。メーカーからの出荷に不安があるので、今ある在庫を大切に売っていききたい。メーカーからの値上げの転嫁は必須である。
	F	売上数量は前月比ほぼ横ばい。前年同月比では10.4%減と大きく落ち込んだ。特に建築向けの荷動きが冴えない。
	G	(鋼管)堅調な土木分野に加えて建設分野にも活況が出始めている。
	H	6月は建築物件が例年になく多かった。
静岡	A	建築関係は素材のリードタイムが更に延び、一次、二次加工業者も手一杯のため加工先が決まらない物件も散見される状況。夏休みを前に高稼働状態である。
	B	各流通とも販売価格の修正に必須の状況であるが、各々エクスキューズ付きの対応と思われる。地元工務店からMグレード以上の請負案件の見積依頼が続いているが、経営方針で見積先を増やせという事のようなのである。担当者もグレード指定の見積案件の取りまとめは従前よりお付き合いのある先が良いが、新規においては出しに使うようにはいかないのではないかと。事実、ファブから敬遠される先がある。価格の仕切り直しは表面的に実施されている。広島、岡山の災害復旧が最優先である。建設関連の不良債権事故は毎月掲載されているが直接的な事件はない。
石川		トラックのボディからはみ出る鋼材（長尺物）に対する警察の取締りが厳しくなるとのこと。鉄鋼会で事実関係を確認し対応策を検討しなければならない。
富山	A	他地区のヒモ付き案件が増えている。
	B	何故か急に中途採用の面接機会が増加しているが、業務内容を絞って求人しないため決まりにくい。1次、2次、3次、4次産業へと人材が移行している。農、水、林や食品関係からの面接者（障害者）も増えているが、相方折り合いが付かずである。
岐阜	A	グレード付きファブはどこでも物件を受けてくれない。認定なしのファブは少し余裕あり。製缶はそれほど忙しくない。この状況の中でどのように価格転嫁していくのか考えなければならない。安値があった時でも営業マン個人の問題なのか組織として提出したのか永遠の謎である。
	B	建築関連など堅調に推移している。BCRコラムは納期もかかりタイトな状況である。設備関連、産業機械などは堅調に推移している。メーカー値上げ分の転嫁がまだまだ遅れていて運賃コストを押し上げている。
愛知	A	7月に入って動きが出てきた感がある。大きな物件に絡んだ仕事も出てきた。炭化はあと5円上昇ということが大きい。8～9月にかけて上昇すると思う。
	B	良くもなければ悪くもない。この地域は自動車の動きに左右される。現状は昨年と比べ数字としてはいいが繁忙感がない。そのほかの業種も斑模様である。価格も膠着状態が続いている。
	C	鋼製家具は前年同月比2ヶ月連続で上回ったが得意先により明暗がある。プロパーの車向けが久しぶりに前年同月比減であった。海外要因もあり、注意して今後の動向を見るつもりである。輸出環境が悪い。
	D	鉄筋メーカーの出荷は増えているが、新規の引合いが少なく価格転嫁が遅れている。7月に入り予算が付いたので設備の受注が増えてきた。鋼板の出荷が良い。鉄骨は相変わらず加工が順調だが、加工賃を上げられていない。

三重		中小物件もぼちぼち動き出した。過剰気味のH形鋼の在庫出荷に期待している。相変わらず一次加工は常に満杯であり、短納期対応は非常に難しい。
大阪	A	7月に入り、荷動き堅調。ただ、メーカーから高値玉が入ってきているため販売価格を採算ラインに乗るまで押し上げていかなければならない。
	B	中小物件中心ながら、6月中旬～7月に入って漸く動きが出てきた。鉄骨造の倉庫、工場、福祉施設、老人ホームなどの物件が多い。RC造はほとんど見当たらない。宅地造成、戸建住宅、建売住宅といった分野はいまだ堅調である。
	C	不需要期を終え、7月以降の荷動きに期待したい。多岐にわたり少しずつだが、動き出してきた様を感じる。
岡山		需要はあると言われているが実感なし。造船が元気ない。
香川		一段階値上げは出来たが、まだ採算ラインには乗らない程度である。需要が盛上に欠けている。土木は不需要期で建築も大型案件が少なく厳しい状況である。建築案件が少ないせいも、ゼネコン間での競合で安値受注が出ているようだ。
北九州	A	各メーカーからの値上げがあるも足元の荷動きが落ち着いており入荷も順調なため在庫の枯渇感もなく安値払拭を実行中である。値上げのタイミングも様子見状態である。
	B	人手不足に加え、この猛暑で生産性が落ちているのか、依然荷動きに盛上りに感じられない。
	C	7月に入っても、猛暑、大雨、台風で工期がずれこみユーザーの山は高いが材料の受け入れができず、定尺の動きは出てこない。電炉メーカーも値上げしたいが、自重気味なので、この間に流通としては長腰を引き締めたいがなかなか上値が上がらない。